

平成 25 年第 1 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 3月6日（7日・8日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	出口 忠雄 (新当クラブ)	<p>1. <u>農業及び耕作放棄農地対策について（企画経済部参事）</u> 本市に於ける農業活性化、耕作放棄農地の有効活用について見解を伺う。</p>
2	澤野 伸 (誠颯会)	<p>1. <u>重症のアレルギー反応であるアナフィラキシーの経験がある児童生徒への対応について（教育委員会事務局長）</u> 食物アレルギーを有する児童生徒の誤食事故防止と緊急時の対応に関し、アナフィラキシー発症時の症状の把握、緊急医薬品である「エピペン」を含めた対応について問う。</p>
3	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p>1. <u>重水素実験と食の安全性について</u> <u>（総務部長・教育委員会事務局長・健康福祉部長）</u> 土岐市にある核融合科学研究所は、重水素実験を始めたいというが、発生するトリチウムや中性子の影響はないのか。内部被ばくの問題や安全な食材選びについては、今後の食育推進計画でも取り扱うべきだ。</p> <p>2. <u>「体罰」・「いじめ」の一掃を（教育長）</u> 「いじめ」問題に加えて、新たに部活顧問の体罰が生徒の自殺を引き起こすという事件が起きた。「いじめ」・「体罰」をどうなくしていくか、これは日本社会の大問題であり、解決するためにあらゆる努力が必要である。</p> <p>3. <u>高齢者福祉政策の後退は許されない（健康福祉部長）</u> 昨年4月に、介護報酬が改定され、訪問介護の生活援助時間が短縮された。また、市の5福祉事業が廃止された。それらのことが市民にどのような影響を与えたか、市は今後、どのような高齢者福祉をめざすのかを問う。</p>
4	佐伯 哲也 (誠颯会)	<p>1. <u>市内の団地等における加速する高齢化について（建設部長）</u> 住宅団地では、一時期に同年代の方が購入したケースが多く、年数が経った現在、急激に高齢化が進み、空き家問題や、高齢者の見守り活動等、自治体運営や地域活動に大きな支障が出てくるが、市の今後の対応は。</p> <p>2. <u>いじめや体罰から子ども達をどう守るか（教育長）</u> 昨年の10月3日から施行された、可児市子どものいじめの防止に関する条例から約5ヶ月が経ちました。条例制定後の成果や、当市のいじめ・体罰に対する考えについて問う。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
5	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p>1. <u>「新たなエネルギー社会づくり」事業等の課題は何か (副市長)</u> 市の環境対応政策は新エネルギー普及へと新段階に入った。今後の政策展開に関わり、環境政策枠を超えて、再生エネルギー発電をキーワードにした社会づくり戦略を問う。太陽光発電普及上の課題と認識を質す。</p> <p>2. <u>中小企業の経営環境へ支援継続を (企画経済部参事)</u> 金融円滑化法の再延長期間が3月末で終了する。借り換え保障や、条件変更の対応では法的な支えを失うことになり、長期不況の下で経営環境が一段と厳しい。市の支援策を検討されたい。</p>
6	川上 文浩 (誠颯会)	<p>1. <u>小学校通学路の安全対策について (建設部長)</u> 度重なる通学路での事故の発生により、昨年5月文部科学省から通学路における緊急合同点検等を実施するよう指示があったが、その結果および対策について問う。</p> <p>2. <u>中心市街地の活性化について (建設部長)</u> 可児市中心市街地活性化計画は平成23年度で終了し、広見地区や下恵土地区の可児駅前、市役所周辺から広見商店街の中心市街地活性化区域の今後のあり方や機能の充実が求められている。これらの市としての考えを問う。</p>
7	小川 富貴 (みどりの風)	<p>1. <u>住みたい街可児に向けて (まちづくり方針)</u> (企画経済部長・教育長・総務部長) 平成25年度予算は就任以来の市長の本格的な政策の実施を明確に裏付けています。可児市の2030年に向けた市長のビジョンを伺います。</p>
8	板津 博之 (誠颯会)	<p>1. <u>学校、幼稚園、保育園の危機管理実施状況は</u> (教育委員会事務局長・健康福祉部長) 学校、幼稚園などにおいて、児童生徒等の安全は第一に確保されるべきであり、設置者たる自治体及び教職員等が責任を持って防犯対策を実施する必要がある。本市の学校、幼稚園などの危機管理実施状況を問う。</p>
9	天羽 良明 (誠颯会)	<p>1. <u>芋でまちおこし。新エネルギーも夢じゃない。(企画経済部参事)</u> 里芋、じゃがいも、さつまいも。「芋のミックス」でまちおこし。耕作放棄地を活用して、大量生産可能な芋を生産して地域の新エネルギーや地産地消に取り組みましょう。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
10	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p>1. <u>本市の歳入確保策について (企画経済部長)</u> 図書館における雑誌サポート制度やネーミングライツを活用するなど、歳入確保策について本市の見解を問う。</p> <p>2. <u>障がい者の自立、就労支援の取り組みについて (総務部長・健康福祉部長)</u> 障害者優先調達推進法の施行にあたって、障がい者の自立、就労支援について本市の取り組みを問う。</p> <p>3. <u>レアメタル等の回収・リサイクルの取り組みについて (市民部長)</u> 小型家電リサイクル法の成立をうけて、循環型社会の構築に向け、レアメタル等の回収・リサイクルの取り組みについて本市の見解を問う。</p>
11	中村 悟 (新当クラブ)	<p>1. <u>競技力強化をめざしたスポーツ振興策で「まち」の活性化を! (市民部長)</u> 可児市出身者がオリンピックに出場すれば市民皆が喜び、興奮し活気づきました。オリンピック出場 (世界大会等) を目指す競技者の育成や指導者の強化を図り、若者が夢を持てるようなスポーツ振興策の推進を望む。</p>
12	伊藤 英生 (民主ネット 可児)	<p>1. <u>住吉南交差点高架橋下の有効活用は (建設部長)</u> 国道248号線住吉南交差点高架橋下の有効活用が、地域の要望もあり期待されている。国土交通省も有効活用する方針を打ち出しており、他地域においても事例が積み重ねられている中、本市はどのように考えるか。</p> <p>2. <u>まちづくり活動への長期的助成は (市民部長)</u> まちづくり活動団体や市民活動団体は、運営に最低限必要な会議室代・コピー代等を会員の会費等で賄っている場合が多い。過去の実績や公益性を考慮して、団体の長期的な運営に対する助成制度を作る考えはあるか。</p>
13	山根 一男 (民主ネット 可児)	<p>1. <u>当市におけるセーフティネットについて (健康福祉部長)</u> 高齢化や厳しい雇用状況の中、当市においても生活保護受給世帯が増加傾向にある。最後のセーフティネットとしての生活保護や、それに至らない生活困窮者等についての当市の現状と今後の対策を問う。</p> <p>2. <u>高齢者が安心して住める住宅の確保について (建設部長)</u> 当市では団地を中心に空き家が増えつつある。本年度予算でも高齢者の安気づくりを重点項目としているが、その最たるものは安心して死ぬまで暮らせる住宅である。どのようにそのニーズに応えるのか。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。